

## 平成 2 0 年度当初予算 施策別概要

### 1 2 2 学校教育の充実

(主担当部：教育委員会)

12201	教育改革の推進	(教育委員会)
12202	児童生徒の基礎学力の向上	(教育委員会)
12203	特色ある教育の推進	(教育委員会)
12204	特別支援教育の推進	(教育委員会)
12205	健やかな心を育む教育の推進	(教育委員会)
12206	子どもたちの安全の確保と健康の増進	(教育委員会)
12207	教職員の資質の向上	(教育委員会)
12208	学校施設等学習環境の整備	(教育委員会)
12209	私学教育の振興	(生活部)

#### < 施策の目的 >

(対象) 児童生徒が

(意図) 学校教育により、それぞれの個性や能力を伸ばすとともに、楽しく安心して学んでいる

#### < 施策の数値目標 >

施策目標項目(主指標)		H18年度	H19年度	H20年度	H22年度
学校に満足している児童生徒の割合	目標値	-	70.5%	72.0%	75.0%
	実績値	68.8%			

小学校5年生、中学校2年生、高等学校2年生の児童生徒を対象とする「学校生活についてのアンケート(授業内容の理解、質問できる雰囲気、相談できる雰囲気、学校生活の安心感、目的意識の有無、学校施設への満足感の6項目)」の平均値から算出した、学校に満足している割合

施策目標項目(副指標)		H18年度	H19年度	H20年度	H22年度
授業内容を理解している児童生徒の割合	目標値	-	79.0%	81.0%	85.0%
	実績値	76.4%			
学校経営品質に基づき改善活動に取り組んでいる学校の割合	目標値	-	52%	62%	80%
	実績値	42%			
特別支援教育を受けている生徒の進学および就労の割合	目標値	-	29.0%	31.0%	34.0%
	実績値	27.4%			

#### < 進捗状況(現状と課題) >

- ・児童生徒の学力や学習意欲の低下が懸念されている中、学力の定着・向上が求められるとともに、身につけた知識や技能を実生活のさまざまな場面で活用できる力を育成する必要があります。

- ・児童生徒の暴力行為発生件数は減少傾向にあるものの、いじめ、不登校の状況は依然として厳しく、また児童生徒の安全を脅かす事案も後を絶たないため、学校と家庭、地域等が連携して子どもたちの規範意識や社会性を育むとともに、子どもたちが安心して学べる学校づくりを進める必要があります。
- ・障がいのある児童生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばし、自立や社会参画が可能となるよう、関係機関とも連携し、早期からの一貫した支援体制を整備する必要があります。
- ・子どもたちの食をとりまく環境の変化によるさまざまな健康上の課題が指摘されており、学校と家庭、地域が連携して食育や食物アレルギー対策を推進する必要があります。
- ・私学教育については、建学の精神を生かした特色ある学校づくりや効率的な学校運営に取り組む学校への支援、保護者の経済的負担を軽減するための支援が必要です。

#### <平成20年度の取組方向>

児童生徒の基本的な生活習慣や学力の定着・向上をめざし、小学校1、2年生での30人学級や、中学校1年生での35人学級をはじめとするきめ細かくいきとどいた少人数教育を推進します。また、指導方法の改善等に取り組み、児童生徒の学力の定着と向上が確実にはかれるよう、市町教育委員会、各学校を支援します。

三重県型「学校経営品質」の浸透・定着による学校自らの継続的な改善活動を進めるとともに、経験や役割に応じた体系的な研修による教職員の資質向上をはかり、児童生徒、保護者、地域から信頼される活力ある学校づくりを進めます。

児童生徒が、将来、自立した社会人として積極的に社会参画できるよう、小学校から高等学校まで発達段階に応じたキャリア教育を推進し、望ましい職業観・勤労観を醸成するとともに、コミュニケーション能力や課題解決能力を育成します。

特別支援教育については、障がいのある児童生徒一人ひとりに的確に対応できるよう環境の整備を進めるとともに、一人ひとりが能力や可能性を伸ばせるよう早期からの一貫した支援体制を整備します。

子どもたちの心の悩みや不安を解消するため、スクールカウンセラーや相談員の配置を進め、相談体制を整備するとともに、教育支援センターの指導により、不登校の子どもたちの社会的な自立を支援します。

子どもたちが将来にわたって望ましい食習慣を身につけ、健康を維持増進していけるよう、栄養教諭を中心として、家庭、地域等とも連携して、食育や食物アレルギー対策を一層推進します。

私立学校については、特色ある教育に積極的に取り組む学校への支援を充実させ、教育条件の維持向上や就学上の経済的負担を軽減するための支援を進めます。

#### <主な事業>

(重) 学力向上支援事業【基本事業名：12202 児童生徒の基礎学力の向上】

予算額： 18,646千円 16,880千円

事業概要：児童生徒の学力の定着・向上をはかるため、授業方法や評価方法等の工夫・改善や補習への取組を支援するとともに、県独自の学習教材を作成します。また、学習指導要領改訂に伴い説明会を開催し、新学習指導要領の円滑な実施を支援します。

(新) 県立学校の新学習指導要領に対応するための支援事業

【基本事業名：12202 児童生徒の基礎学力の向上】

予算額： - 千円 8,106千円

事業概要：学習指導要領の改訂に伴い、県立学校の教職員を対象に講習会等を開催し、趣旨・内容の周知をはかるとともに、手引き書等を作成するなどして、新教育課程の編成を支援します。

(重) 自ら創る学校支援事業【基本事業名：12201 教育改革の推進】

予算額： 17,297千円 17,250千円

事業概要：学校経営品質について、小中学校、県立学校での取組の定着、発展を図るとともに、未実施の小中学校への拡大を進め、継続的な改善活動に取り組むことにより、児童生徒、保護者、地域から信頼される、活力ある学校づくりを推進します。

(一部新)(舞) 外国人児童生徒に対する教育の充実に向けた支援事業

【基本事業名：12202 児童生徒の基礎学力の向上】

予算額： 13,975千円 18,609千円

事業概要：外国人児童生徒が増加する中、学校への巡回指導員の派遣や「プレスクール」の設置を進め、日本語指導や学校生活への適応指導に取り組みます。また、市町や関係機関等で作成されている受け入れの手引きや日本語指導等の教材、指導方法をデータベース化するなどして、外国人児童生徒に対する指導を支援します。

(重) 学校・地域との協働によるキャリア教育実践事業

【基本事業名：12203 特色ある教育の推進】

予算額： 37,840千円 49,196千円

事業概要：児童生徒が、望ましい職業観・勤労観や主体的に進路を選択する能力・態度を身につけ、将来、自立した社会人として積極的に社会参画できるよう、学校と地域、事業所等が連携をはかりながら発達段階に応じたキャリア教育を推進します。

第33回全国高等学校総合文化祭(三重大会)準備事業

【基本事業名：12203 特色ある教育の推進】

予算額： 34,000千円 62,152千円

事業概要：芸術文化活動に取り組む全国の高校生が一堂に会して成果を発表する「第33回全国高等学校総合文化祭(三重大会)」の平成21年度の開催に向けて準備を進めるとともに、各芸術部門に出場する高校生の育成をはかります。

(新) 特別支援学校の児童生徒増に伴う緊急対策事業

【基本事業名：12204 特別支援教育の推進】

予算額： - 千円 80,137千円

事業概要：特別支援学校西日野にじ学園における児童生徒の急増に緊急に対応するため、暫定校舎を設置するとともにスクールバスを追加配備します。また杉の子特別支援学校に新たに知的障がい部門を設置することとし、校舎の増築、スクールバスの配備、学校給食の提供などを行います。

(重) スクールカウンセラー等活用促進事業

【基本事業名：12205 健やかな心を育む教育の推進】

予算額： 182,868千円 201,892千円

事業概要：子どもたちが一人で悩みを抱えることなく、安心して学校生活をおくることができるよう、臨床心理に関する専門的な知識や技能を有するスクールカウンセラー等を小中学校、高等学校に配置して学校の相談体制を整備し、子どもたちの心の問題に対応します。

(新) 学校給食における食物アレルギー対応推進事業【基本事業名：12206 子どもたちの安全の確保と健康の増進】

予算額： - 千円 3,216千円

事業概要：モデル地域における食物アレルギー対応方法の調査研究、実践事例集の配付、学校給食関係職員のスキルアップのための講習会の開催などを通じて、県内すべての学校給食実施校で、食物アレルギーを有する児童生徒が安心して過ごすことができるよう、症状に応じた学校給食を提供するなど適切な対応を推進します。

伊賀地域新総合専門高等学校施設整備費【基本事業名：12208 学校施設等学習環境の整備】

予算額： 100,700千円 701,574千円

事業概要：伊賀地域における県立高等学校の再編活性化をはかるため、工業、農業、商業、福祉の4つの専門学科を有する新しいタイプの総合専門高等学校の平成21年4月の開校に向け、施設の整備を進めます。

私立高等学校等振興補助金【基本事業名：12209 私学教育の振興】

予算額： 4,532,162千円 4,562,655千円

事業概要：公教育の一翼を担っている私立学校(小中高校)において、独自の建学精神に基づく個性豊かで多様な教育が推進されるとともに、児童生徒の就学上の経済的負担の軽減を図るため、経常的経費への支援を行います。